

報道関係者 各位

2024年12月20日

**日本老人福祉財団、
職員がもらった「ありがとう」を評価する『バリュー制度』を
25年2月開催の『東京ケアウィーク'25/第11回 CareTEX 東京'25』で紹介
～「ありがとう」を賞与に加点し、財団の理念・価値観を体現する職員の評価に反映～**

介護付有料老人ホーム〈ゆうゆうの里〉を全国7箇所で運営する一般財団法人日本老人福祉財団（本部：東京都中央区、理事長：小口明彦）では、2024年4月より導入した新たな人事評価の仕組み『バリュー制度』について、2025年2月3日（月）～5日（水）に東京ビッグサイトで開催される『東京ケアウィーク'25/第11回 CareTEX 東京'25』にて講演・紹介いたします。



『バリュー制度』をもとに制作された採用ムービー『「ありがとう」にあふれる仕事をしよう。』
<https://www.youtube.com/watch?v=TprkDE5pbo4&feature=youtu.be>

日本老人福祉財団では、2023年4月より人事制度改革に着手し、24年4月より管理職への昇進とは別に専門職であっても評価・昇進試験を通じて昇格していくことのできる新たな複線型人事制度を運用開始しました。

そしてこの新人事制度における評価制度として、財団が掲げる『ケアスピリット』に基づく重点行動規範を体現している職員を評価する『バリュー制度』を導入し、昇給・賞与への加点制度として採用しました。

2022年に組織横断のプロジェクトチームを立ち上げて全国7施設の採用担当者を中心に話し合いを行い、「入居者の夢を叶えるお手伝いにやりがいを感じる人」を求める人物像として設定し、まず「たくさん『ありがとう』にありがとう。」というキャッチコピーを作成しました。その上で、①財団職員に求められる基礎的な行動基準・能力と②入居者・同僚職員への貢献行動、この二つを重点行動規範とし、①については昇給・賞与の加点係数に、②については賞与の加点係数に使用することとしました。

今回、『東京ケアウィーク'25/第 11 回 CareTEX 東京'25』にて紹介するのは、②入居者・同僚職員への貢献行動になります。これは、入居者や同僚職員に「ありがとう」と感謝された仕事や行動、通常業務以外での能力発揮、課外活動・職場貢献を、評価時に自己評価する仕組みとなります。

職員は「ありがとう」と感謝されたエピソードをエピソードシートに記入・提出することで基礎点数が付与される他、その取り組みが特別に評価された場合には特別点数が加算され、いずれも賞与に反映されます。すでに本制度が導入された今年 4 月から約半年の間に 400 件近いエピソードが提出されており、今年 12 月の賞与評価においても評価・賞与への反映がされています。

また、この制度について企業説明会など職員採用の場で紹介したところ、若年層からも高い関心が寄せられました。そこで財団では今回、新卒採用向けの動画を作成し、深刻化する人手不足の解消に向け、介護福祉の仕事の魅力を伝えるものとして積極的に活用していく予定にしています。

このバリュー制度の策定・導入を進めてきた日本老人福祉財団 人事部の前川規部長は、この制度に対する反応、今後の展開について以下のように語っています。

「昨年 12 月に我々の財団は創立 50 周年を迎えました。その節目の時に決めたテーマが『感謝・絆・進化』でした。『ありがとう』という言葉は財団の過去と未来をつなぐテーマを、日頃の業務の中で具現化したものと考えています。新しい人事制度が定着し、職員の成長につながるものになると期待しています」

日本老人福祉財団では、その基本理念である豊かな福祉社会の実現を目指して、その根幹となる福祉人材の人間性を重視し、やりがいを持って働ける職場環境を構築すべく、今後も『バリュー制度』をはじめとした財団の新しい人事制度の拡充ならびに周知に努めていきます。

記

■日本老人福祉財団 イベント参加の概要

イベント名：『東京ケアウィーク'25/第 11 回 CareTEX 東京'25』

講演名：現場での『ありがとう』を評価に加点！信頼関係の見える化で“輝き続ける”職員を育てる新人事制度

日時：2025 年 2 月 5 日（水）10:00～11:00

場所：東京ビッグサイト 南展示棟

登壇者：一般財団法人 日本老人福祉財団 経営企画部次長 井尻隆夫

参加方法：専門セミナーの受講申込みをいただく場合には、先に来場事前登録いただく必要があります。

詳しくは、『東京ケアウィーク'25/第 11 回 CareTEX 東京'25』のホームページをご覧ください。
ご登録ください。（URL：<https://caretex.jp>）

以上

■日本老人福祉財団のなりたち

日本老人福祉財団は、1970 年代初頭の高度経済成長期のなかでいち早く将来の「日本社会の高齢化」を見据えて、特に日本経済の高度成長による労働人口の都市への集中がもたらす「核家族化」現象により、一人暮らしの老人の増加などの高齢期における経済上、生活上、肉体的・精神的健康の問題に立ち向かうべく、1973 年に設立いたしました。

■日本老人福祉財団の基本理念

—豊かな福祉社会の実現を目指して—

私達は、老後の“安心”と“幸せ”を提供することにより社会へ貢献します。

私達は、はたらく人達の“人間性”を大切にします。

『ケア・スピリット』

私にとって、あなたはとても大切な人です。

■組織概要

財団名：一般財団法人 日本老人福祉財団

理事長：小口 明彦

設立：1973（昭和 48）年

事業：介護付有料老人ホーム〈ゆうゆうの里〉を全国 7 箇所で運営
（佐倉、湯河原、伊豆高原、浜松、京都、大阪、神戸）

特徴：創立 51 年目を迎えた老舗の有料老人ホーム運営事業者。

自立の時期に入居し最期まで暮らせる住まい（終の棲家）を提供

1 施設あたり平均 300 戸を超える大型施設の CCRC「高齢者コミュニティ」を展開している

H P : <https://jscwo.jp/>

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

一般財団法人 日本老人福祉財団 本部 経営企画部 企画課 井尻

Tel. 03-3662-3611 / Mail. ijiri-tk@yuyunosato.or.jp